

E

庁

JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2002年 9月30日

出 願 番 号

Application Number:

特願2002-287358

[ST.10/C]:

[JP2002-287358]

出 願 人

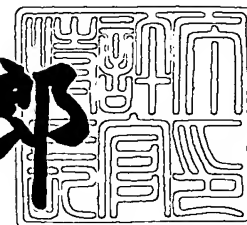
Applicant(s):

富士写真フイルム株式会社

2003年 4月18日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

太田信一郎



出証番号 出証特2003-3028683

【書類名】 特許願

【整理番号】 P27224J

【あて先】 特許庁長官 太田 信一郎 殿

【国際特許分類】 H04N 1/32

【発明者】

 【住所又は居所】 神奈川県足柄上郡開成町宮台 7 9 8 番地 富士写真フイルム株式会社内

 【氏名】 飯田 孝之

【特許出願人】

 【識別番号】 000005201

 【氏名又は名称】 富士写真フイルム株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100073184

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 柳田 征史

【選任した代理人】

 【識別番号】 100090468

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 佐久間 剛

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 008969

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

 【包括委任状番号】 9814441

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 画像記録媒体およびプリント受付装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 複数の画像ファイルを有する画像データを記録する画像記録媒体において、

前記画像ファイル毎にプリントの受付状況を管理するための受付情報が付帯可能とされ、

前記画像データのプリントを受け付けるプリント受付装置により、プリントを受け付けた画像ファイルに付帯する受付情報が受付済みの状態に書き換えられるものであることを特徴とする画像記録媒体。

【請求項 2】 前記画像ファイル毎にプリントを注文するためのプリント注文情報が付帯可能とされていることを特徴とする請求項 1 記載の画像記録媒体。

【請求項 3】 前記画像データを記録する顧客に関する顧客情報が記録可能とされていることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の画像記録媒体。

【請求項 4】 プrintの受付状況を管理するための受付情報が付帯された画像ファイルを、画像データを記録する画像記録媒体から読み取る画像データ読取手段と、

前記読み取った画像ファイル毎に画像データのプリントを受け付けて、該画像ファイルの受付情報を受付済の状態に書き換える受付手段とを備えたことを特徴とするプリント受付装置。

【請求項 5】 前記読み取った画像ファイルの受付情報から、該画像ファイルがプリントを受付済みであるか否かを確認可能に表示装置に表示する受付状況確認手段をさらに備えたことを特徴とする請求項 4 記載のプリント受付装置。

【請求項 6】 前記画像ファイルが、プリントを注文するためのプリント注文情報が付帯されているものであることを特徴とする請求項 4 または 5 記載のプリント受付装置。

【請求項 7】 前記画像記録媒体が、画像データを記録する顧客に関する顧客情報を有し、

前記読み取った画像ファイルの画像データのプリントを受け付けた際、前記顧

客情報を読み取る顧客情報読取手段をさらに備えることを特徴とする請求項4から6いずれか1項記載のプリント受付装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、画像データを記録する記録媒体、および、その記録媒体から画像データを読み取るプリント受付装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】

近年、デジタルスチールカメラ（以下、デジタルカメラとする）の普及に伴って撮影画像を電子データとして記録媒体に記録するようになってきた。このような記録媒体に保管できる写真量はフィルムよりはるかに大きいため、プリントのタイミングが定まらなくなっている。その一方で、顧客側で撮影した画像データをプリントするかしないかを選択する権限が与えられるようになった。

【0003】

このような画像データはホームプリントやITツール等に汎用的に利用することが可能であり、そのための規格としてDPOF（Digital Print Order Form）が提唱されている。DPOFに準拠して記録されている画像データは、プリント処理の電子化が容易となり、プリント注文する際には、プリント注文する画像データの指定や、プリントする枚数の指定などを画像データ毎に記録媒体に記録することができる。

【0004】

また、このようなデジタルカメラで撮影した画像データを記録した記録媒体からプリントするサービスには、所定のファイル規格によって記録された画像ファイルをプリントするときに、その画像データに付与されている情報に含まれる撮影日時情報に基づいて、複数の撮影された画像データを撮影日時順に配列するようにプリントすることができるようにしたものがある（例えば、特許文献1参照）。

【0005】

【特許文献 1】

特開 2 0 0 2 - 2 6 2 2 2 2 号公報

【0 0 0 6】

【発明が解決しようとする課題】

上記のような記録媒体に記録されている画像データを利用するために、顧客がプリント注文する画像データを指定して記録媒体をラボ店に渡すと、ラボ店では指定された画像データだけをプリントし、プリントが終わると顧客に返却するが、顧客に返却された記録媒体には、すでにプリント注文をしたことのある画像データか、一度もプリント注文をしたことがない画像データであるかの記録は残っていない。

【0 0 0 7】

また、記録媒体を使い切らない状態でプリント注文し、注文後もその記録媒体に撮影した画像データを貯めていくと、どれがプリント注文した画像データであるかが分からなくなる。

【0 0 0 8】

本発明は以上のような課題に鑑みて、撮影した画像がすでにプリント注文済のものであるかを容易に管理することができる仕組みを提供することを目的とするものである。

【0 0 0 9】

【課題を解決するための手段】

本発明の画像記録媒体は、複数の画像ファイルを有する画像データを記録する画像記録媒体において、

前記画像ファイル毎にプリントの受付状況を管理するための受付情報が付帯可能とされ、

前記画像データのプリントを受け付けるプリント受付装置により、プリントを受け付けた画像ファイルに付帯する受付情報が受付済みの状態に書き換えられるものであることを特徴とするものである。

【0 0 1 0】

ここで、「画像記録媒体」は、「スマートメディア」（登録商標）、「メモリ

スティック」(登録商標)、メモリカード等のメモリ型記憶媒体、DVD、CD-RW等の光記憶媒体等の、デジタルカメラ等で撮影した画像データを記録することが可能な媒体で、ラボ店でプリント注文を行ったり、プリンタ等の印刷装置からのプリントや、パソコン等を使ったホームプリント等に利用することが可能なものである。

【0011】

また、「画像データ」は、デジタルカメラで撮影された静止画や動画等で、「画像ファイル」はExif、JPEG、CAM、シフ、Motion JPEG、MPPEG等の様々な形式があり、画像データを記録したファイルである。

【0012】

この「プリントの受付」とは、ラボ店等でプリント注文の受け付けや、印刷装置やパソコン等を利用してプリントすることである。また、動画等の場合には、1つの纏まったシーン単位に受け付ける場合もある。

【0013】

また、「付帯可能」とは、画像データのプリント状況をファイルに付属する情報として管理することを可能とすることである。また、前記画像ファイル毎にプリントを注文するためのプリント注文情報が付帯可能とされているものであってもよい。

【0014】

「プリント注文情報」は、各画像ファイルがプリントの受付をしたものであるか否かが分かるように記録媒体に、例えば、フラグを立てるなどして記録されるものである。

【0015】

また、画像データを撮影した顧客情報が記録されている方が、後処理のために好ましい。したがって、前記画像データを記録する顧客に関する顧客情報が記録可能とされているものであってもよい。

【0016】

また、本発明のプリント受付装置は、プリントの受付状況を管理するための受付情報が付帯された画像ファイルを、画像データを記録する画像記録媒体から読

み取る画像データ読取手段と、

前記読み取った画像ファイル毎に画像データのプリントを受け付けて、該画像ファイルの受付情報を受付済の状態に書き換える受付手段とを備えたことを特徴とするものである。

【 0 0 1 7 】

「プリント受付装置」は、画像記録媒体の読取／書込機能を備えたもので、ラボ店等に設置され画像データのプリント注文を行う受付機や、プリンタ等の印刷装置やパソコン等の画像データをプリントすることが可能なものを意味する。

【 0 0 1 8 】

また、このプリント受付装置は、すでにプリントを受け付け済みのものであるか否かが確認できることが望まれる。そこで、前記読み取った画像ファイルの受付情報から、該画像ファイルがプリントを受付済みであるか否かを確認可能に表示装置に表示する受付状況確認手段をさらに備えることが望ましい。

【 0 0 1 9 】

また、前記画像ファイルは、プリント注文するためのプリント注文情報が付帯されているものであってもよい。

【 0 0 2 0 】

さらに、画像データを撮影した顧客情報とともに受け付けるようにした方が、後処理のために好ましい。そこで、前記画像記録媒体は、画像データを記録する顧客に関する顧客情報を有し、

前記読み取った画像ファイルの画像データのプリントを受け付けた際、前記顧客情報を読み取る顧客情報読取手段をさらに備えるものであってもよい。

【 0 0 2 1 】

【発明の効果】

本発明の画像記録媒体は、画像ファイル毎にプリントの受付状況を管理するための受付情報を付帯して、受付済みのものか否かを画像ファイル毎に管理することができるので、撮影途中の記録媒体をプリント注文に出してもどれがプリントしたものであるかや、何度プリントしたものであるかを記録することができる。

【 0 0 2 2 】

また、画像ファイル毎にプリント注文するためのプリント注文情報が付帯するようにすれば、プリント済みのものか否かとは別に、プリント注文する画像を指定することができる。

【 0 0 2 3 】

また、画像データを記録する顧客に関する顧客情報を記録媒体に記録するようにして、撮影した顧客を管理することができる。

【 0 0 2 4 】

本願発明のプリント受付装置は、画像記録媒体から画像データを読み取って、各画像ファイルが受付済みであるか否かを表す受付情報を受付済の状態に書き換えることにより、どれがプリントした画像ファイルであるかや、何度もプリントしたものであるかを記録することができるので、撮影途中の記録媒体であってもプリント注文に出すことができる。

【 0 0 2 5 】

また、読み取った画像ファイルの受付情報から、画像ファイルがプリントを受付済みのものであるか否かを確認できるようにすれば、間違いなくプリント注文することができる。

【 0 0 2 6 】

さらに、前記画像記録媒体に記録されている画像データを記録した顧客に関する顧客情報を読み取るようにすれば、顧客にさまざまなサービスを提供したりセールスにつなげることができる。

【 0 0 2 7 】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の画像データを記録する画像記録媒体について、図面を参照して詳細に説明する。図 1 は、本発明の画像記録媒体 1 の構成を示す図である。

【 0 0 2 8 】

画像記録媒体 1 には、図 1 の (a) に示すように、デジタルカメラ等で撮影した静止画や動画等の画像データを記録している画像ファイル 1 0 と、各画像ファイル 1 0 に対してプリントの受付状況やプリントの注文状況等を管理するための付帯情報 2 0 を記録する。

【 0 0 2 9 】

また、画像記録媒体 1 には画像撮影した顧客の顧客情報 3 0 が記録されていることが好ましい。この顧客情報は、住所・家族氏名・生年月日・メールアドレス・決済方法・使用カメラ・過去の利用サービス履歴（ポストカード、アルバム写真等）・ご利用ポイント・ご利用ラボ店など、生涯セールスにつながるような情報であることが好ましい。さらに、ラボ店で画像記録媒体 1 を用意して、予め顧客情報 3 0 を記録して顧客に渡すようにしてもよい。

【 0 0 3 0 】

付帯情報 2 0 は、画像記録媒体 1 に記録されている画像ファイル 1 0 毎に、プリント注文するか否かを表すプリント注文フラグ 2 2 と、各画像ファイル 1 0 の画像をプリントするためにラボ店で受付済みのものであるか否かや、プリンタやパソコン等でプリントするために読み取られたものであるか否かを表すプリント受付フラグ 2 3 等がある。図 1 の（b）に、画像ファイル名 2 1 とプリント注文フラグ 2 2 とプリント受付フラグ 2 3 の関係を表す。

【 0 0 3 1 】

プリント注文フラグ 2 2 は、デジタルカメラ等からプリント注文したい画像ファイル 1 0 の指定ができるものである。例えば、図 1 に示すように、プリントしたい画像ファイル 1 0 のプリント注文フラグ 2 2 を「1」にし、プリントしない画像ファイル 1 0 は「0」にする。

【 0 0 3 2 】

また、プリント受付フラグ 2 3 は、ラボ店等でプリントの依頼を受け付ける装置やプリンタやパソコン等のプリント受付装置から、プリントをするために画像ファイル 1 0 を読み取ると受付済みに書き換えられるものである。このプリント受付フラグ 2 3 は、顧客から書き換えられないように管理されることが好ましく、プリント受付装置からのみ書き換え可能なようにすることが望ましい。例えば、ラボ店でユーザから画像記録媒体 1 を受け取ると、プリント受付装置でプリント注文フラグ 2 2 が「1」の画像ファイル 1 0 を読み出し、ユーザに返却する前に、プリント受付フラグ 2 3 を「1」にし、プリント注文フラグ 2 2 を「0」にする。

【 0 0 3 3 】

また、ユーザから画像データを受け取った時点で、プリント注文フラグ 2 2 が「1」であり、プリント受付フラグ 2 3 が「1」の画像ファイル 1 0 は、再注文プリントであると判断することができる。このとき、プリント受付装置で画像ファイル 1 0 を読み取るとプリント受付フラグ 2 3 を「2」にし、プリント注文フラグ 2 2 を「0」にするようにして、再注文であることがわかるように管理することもできる。

【 0 0 3 4 】

以上説明したように、プリント受付フラグ 2 3 と、プリント注文フラグ 2 2 から、各画像ファイル 1 0 は、プリント注文する画像であるか、プリント済みの画像であるか、再注文する画像であるか、過去何枚プリントしたか等のプリントの状況やプリント履歴を記録することができる。

【 0 0 3 5 】

次に、本発明の画像データのプリント受付をするプリント受付装置について、図面を参照して詳細に説明する。図 2 は、本発明のプリント受付装置 5 の構成を示す図である。

【 0 0 3 6 】

プリント受付装置 5 は、ラボ店等でプリントの依頼を受け付けるための受付機や、プリンタやパソコン等の画像データがプリント可能な装置で、画像データを記録する画像記録媒体 1 から画像ファイル 1 0 を読み取る画像データ読取手段 5 1 と、読み取った画像ファイル 1 0 のプリントを受け付けて、画像ファイル 1 0 のプリント受付フラグ 2 3 を受付済の状態に書き換える受付手段 5 2 等で構成される。

【 0 0 3 7 】

さらに、読み取った画像ファイル 1 0 のプリント受付フラグ 2 3 から、画像ファイル 1 0 のプリントの受付が終わった状態であるか否かを確認することができる受付状況確認手段 5 3 を備えるようにしてもよい。

【 0 0 3 8 】

画像データ読取手段 5 1 は、スマートメディア、メモリスティックメモリー

ド等のメモリ型記憶媒体、DVD、CD-RW等の光記憶媒体等の記録媒体読取書込装置54で、画像記録媒体1からプリントする画像ファイル10を読み取る。図1で説明したように、プリントする画像ファイル10をプリント注文フラグ22で管理している場合には、プリント注文フラグ22をみて画像ファイル10を読み取るようにする。

【0039】

また、受付手段52では、読み取った画像ファイル10のプリント受付フラグ23を記録媒体読取書込装置54で受付済みの状態にする。

【0040】

また、受付状況確認手段53は、画像記録媒体1の画像ファイル10のプリント受付フラグ23を読み取って、どの画像ファイル10が受付済みのものであるかが分かるように表示装置55に表示するものである。

【0041】

そこで、一例として、ユーザがラボ店で画像記録媒体1に記録している画像データを、プリント受付装置5でプリント注文する場合について、図3から図5のフローチャートを用いて説明する。また、プリント受付装置をラボ店に設置されている受付機として説明する。

【0042】

まず、図3のフローチャートを用いてラボ店での画像記録媒体1からプリントする画像ファイル10の受け付けをする処理について説明する。店員またはユーザがラボ店の受付機5にユーザの画像記録媒体1を挿入する(S100)。そこで、画像記録媒体1に記録されている顧客情報30を読み出し(S101)、画像記録媒体1に記録されている画像ファイル10のプリント注文フラグ22を参照して、今回注文する画像ファイル10を全て読み取る(S102)。

【0043】

次に、今回注文する画像ファイル10を受付機5の表示装置55の画面上に表示して(S103)、プリントOKかNGかを確認する(S104)。受付機5の画面上に今回注文する画像データを表示すると、デジタルカメラのLCD（反射型カラー液晶ディスプレイ）の小さい画面では確認できなかったピンボケや不適

正画面が見つかる場合がある。そこで、画面上に表示した画像データの色味・シャープネス・ハイパートーン等の画質をユーザの好みで調整できるような機能を受付機5に備えるようにする方が好ましい。

【 0 0 4 4 】

画面上に表示した画像がNGの場合には（S 1 0 5）、プリントする画像ファイル10の画像データを修正するために修正処理を行い（S 1 0 6）、再度、プリントする画像データを画面に表示してプリントするか否かを確認して、OKであれば（S 1 0 7）、注文処理（S 1 0 8）をする。NGであれば（S 1 0 5）、再度修正処理をする（S 1 0 6）。

【 0 0 4 5 】

そこで、修正処理について図4のフローチャートを用いて説明する。修正処理では今回注文する画像ファイル10を一つずつ表示して、対象画像ファイル10を注文するか否かを問い合わせる（S 1 1 0）。必要のない画像ファイル10は削除して（S 1 1 1）、注文する画像ファイル10を決めていく（S 1 1 2）。さらに、次の画像ファイル10に進めて（S 1 1 3）、全ての画像ファイル10について確認が終わると終了する（S 1 1 4）。

【 0 0 4 6 】

また、注文処理について図5のフローチャートを用いて説明する。注文処理では、今回注文する画像ファイル10を確定して（S 1 2 0）、受け付けた画像ファイル10のプリント受付フラグ23を受付済みにし（S 1 2 1）、さらに、画像ファイル10の画像データに対して仕上がりアドバイス処理をする（S 1 2 2）。そこで、受け付けた画像ファイル10のプリント予定等をスケージューリングして（S 1 2 3）、店頭受取の場合には、顧客情報30から受取ラボ店と仕上がり日を表示し、宅配希望の場合には、送付先住所と到着日を表示する（S 1 2 4）。ユーザは表示された受け取り方法を確認して（S 1 2 5）、必要に応じて、受取方法または送付先を修正する（S 1 2 6）。

【 0 0 4 7 】

受取方法に問題がなければ、利用履歴を画像記録媒体1に記録して受付機5から画像記録媒体1を排出し（S 1 2 7）、受注票を発行して終了する（S 1 2 8）。

）。

【 0 0 4 8 】

次に、ユーザがラボ店で過去注文を行った画像ファイル 1 0 が記録されている画像記録媒体 1 を受付機でプリント注文する場合について、図 6 のフローチャートを用いて説明する。

【 0 0 4 9 】

S 1 0 0 から S 1 0 2 までの処理は、図 4 で説明したものと同様にして、今回注文する画像ファイル 1 0 を画像記録媒体 1 から読み取る。

【 0 0 5 0 】

そこで、今回注文する画像ファイル 1 0 を受付機 5 の表示装置 5 5 の画面上に表示する（S 1 0 3）。そこで、プリントする画像ファイル 1 0 のプリント受付フラグ 2 3 を参照して、過去注文されたことがあるものであれば、過去に注文のあった画像ファイル 1 0 を全て表示して、「今回の注文分に過去の注文分が含まれていますが続行しますか？」等の確認メッセージを表示する（S 1 3 4）。

【 0 0 5 1 】

そこで、画面上に表示した画像ファイル 1 0 のうち注文しないものがある場合には、例えば、「表示」ボタンを押して（S 1 3 5）、重複するプリントする各画像ファイル 1 0 を画面に表示して（S 1 3 6）、確認処理をする（S 1 3 7）。OK であれば（S 1 3 8）、注文処理をする（S 1 3 9）。

【 0 0 5 2 】

そこで、確認処理について図 7 のフローチャートを用いて説明する。確認処理では今回注文する画像ファイル 1 0 を一つずつ表示して、重複画像を再注文するか否かを問い合わせる（S 1 4 0）。必要のない画像ファイル 1 0 は削除して（S 1 4 1）、注文する画像ファイル 1 0 を決めていく（S 1 4 2）。さらに、次の画像ファイル 1 0 に進めて（S 1 4 3）、全ての画像ファイル 1 0 について確認が終わると終了する（S 1 4 4）。

【 0 0 5 3 】

注文処理は、図 5 のフローチャートで説明したものと同様に行うが、その際プリント受付フラグ 2 3 は、例えば、「2」にするなど再注文であることがわかる

ような情報であることが望ましい。

【 0 0 5 4 】

さらに、スマートメディア等の携帯型の画像記録媒体 1 から、CD-RW等の大容量の画像記録媒体 1 に移して整理する場合について、図 8 と図 9 のフローチャートを用いて説明する。ここでは、スマートメディア等の携帯型の画像記録媒体を単に記録媒体とし、大容量の画像記録媒体をCD-RWとして説明する。

【 0 0 5 5 】

まず、図 8 のフローチャートに基づいて説明する。記録媒体から顧客情報 3 0 を読み出し (S 1 5 0)、記録媒体に記録されている画像ファイル 1 0 を全てCD-RW化するか否かを問い合わせる (S 1 5 1)。全てCD-RW化する場合には (S 1 5 2)、全ての画像ファイル 1 0 を読み出して (S 1 5 3)、CD-RWに記録する (S 1 5 4)。全てCD-RW化しない場合でも、過去注文したのものに関しては全てCD-RWに記録する。そこで、各画像ファイル 1 0 のプリント受付フラグ 2 3 を確認して、過去注文がなかった画像ファイル 1 0 を読み出し (S 1 5 5)、編集処理をする (S 1 5 6)。

【 0 0 5 6 】

そこで、編集処理について図 9 を用いて説明する。編集処理では、過去注文がなかった画像ファイル 1 0 を表示して (S 1 6 0)、CD-RW化するか否かを確認する (S 1 6 1)。CD-RW化する必要のない画像ファイル 1 0 は削除して (S 1 6 2)、次の画像ファイル 1 0 を表示する (S 1 6 3)。

【 0 0 5 7 】

CD-RW化する場合には (S 1 6 1)、例えば、「OK」ボタンを押して (S S 1 6 4)、次の画像ファイル 1 0 の確認をする (S 1 6 5)。全ての画像ファイル 1 0 の確認が終わると (S 1 6 6)、過去注文のあった画像ファイル 1 0 と、選択した画像ファイル 1 0 をCD-RWに記録して終了する (S 1 6 7)。

【 0 0 5 8 】

このとき、CD-RWに記録する場合には、過去注文しなかった画像ファイル 1 0 は将来プリント注文する可能性が低いため、過去プリント注文した画像ファイル 1 0 と未注文の画像ファイル 1 0 が分かるように、例えば、別のフォルダに

記録の方が好ましい。

【0059】

次に、図10を用いて、CD-RWに記録した画像ファイル10の印刷注文をする場合について説明する。

【0060】

まず、ラボ店に設置されている受付機5にユーザのCD-RWを挿入する(S170)。そこで、プリント受付フラグ23で過去プリント注文があったものと、未注文の画像ファイル10とに分けて読み出し(S171)、まず、過去プリント注文のあった画像ファイル10を表示して(S172)、プリント注文したい画像ファイル10があるか否かを確認する(S173)。プリント注文したい画像ファイル10がある場合には、その全ての画像ファイル10のプリント注文フラグ22を「1」にする(S174)。

【0061】

過去プリント注文のあった画像ファイル10に注文したい画像ファイルがない場合には、過去プリント注文されていない画像ファイル10を表示して(S175)、プリント注文したい画像ファイル10がある場合には、その全ての画像ファイル10のプリント注文フラグ22を「1」にする(S176)。

【0062】

そこで、今回注文する画像ファイル10を確認して(S177)、NGの場合には(S180)、修正処理(図4参照)をする(S181)。OKの場合には(S178)、注文処理(図5参照)をする(S179)。

【0063】

以上説明したように、過去にプリント注文があった画像ファイルであるか否かを管理することにより、プリントの再注文であるか否かを確認したり、注文の履歴を管理することができる。このため、画像記録媒体を撮影の途中でプリントに出すことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

画像記録媒体の構成を説明する図

【図 2】

プリント受付装置の構成を説明する図

【図 3】

ラボ店での受付処理を説明するためのフローチャート（その 1）

【図 4】

修正処理を説明するためのフローチャート

【図 5】

注文処理を説明するためのフローチャート

【図 6】

ラボ店での受付処理を説明するためのフローチャート（その 2）

【図 7】

確認処理を説明するためのフローチャート

【図 8】

ラボ店で記録媒体を CD-RW 化する処理を説明するためのフローチャート

【図 9】

編集処理を説明するためのフローチャート

【図 10】

CD-RW から再注文を説明するためのフローチャート

【符号の説明】

- 1 画像記録媒体
- 5 プリント受付装置
- 10 画像ファイル
- 20 付帯情報
- 21 画像ファイル名
- 22 プリント注文フラグ
- 23 プリント受付フラグ
- 30 顧客情報
- 51 画像データ読取手段
- 52 受付手段

53 受付状況確認手段

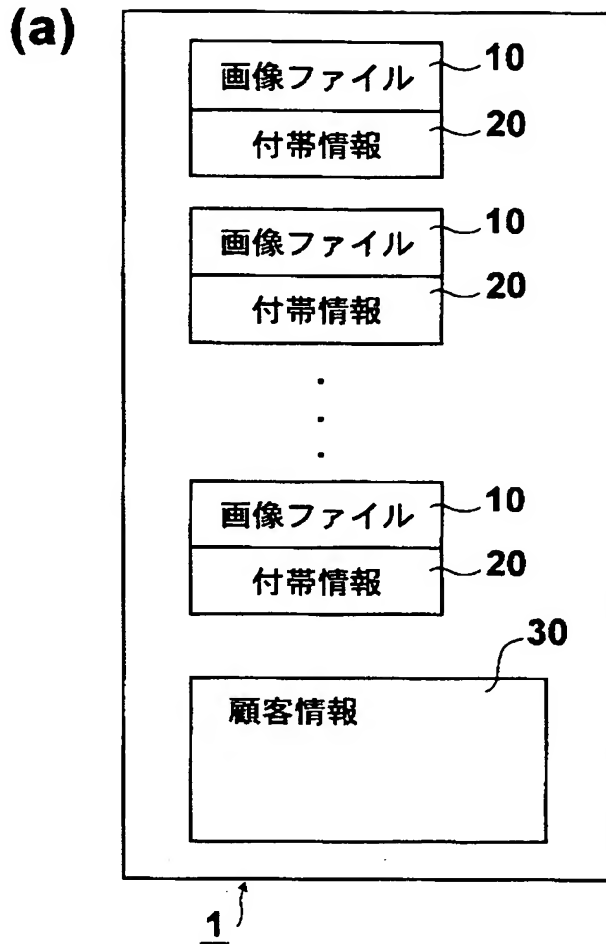
54 記録媒体読取書込装置

55 表示装置

【書類名】

図面

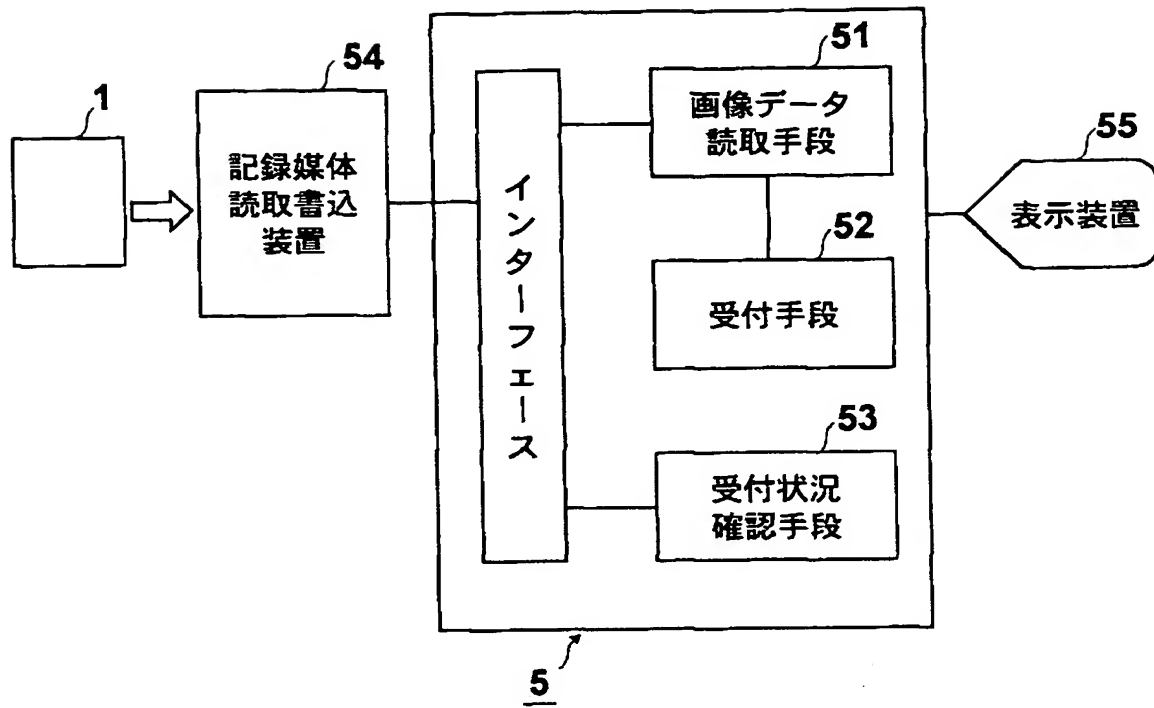
【図 1】



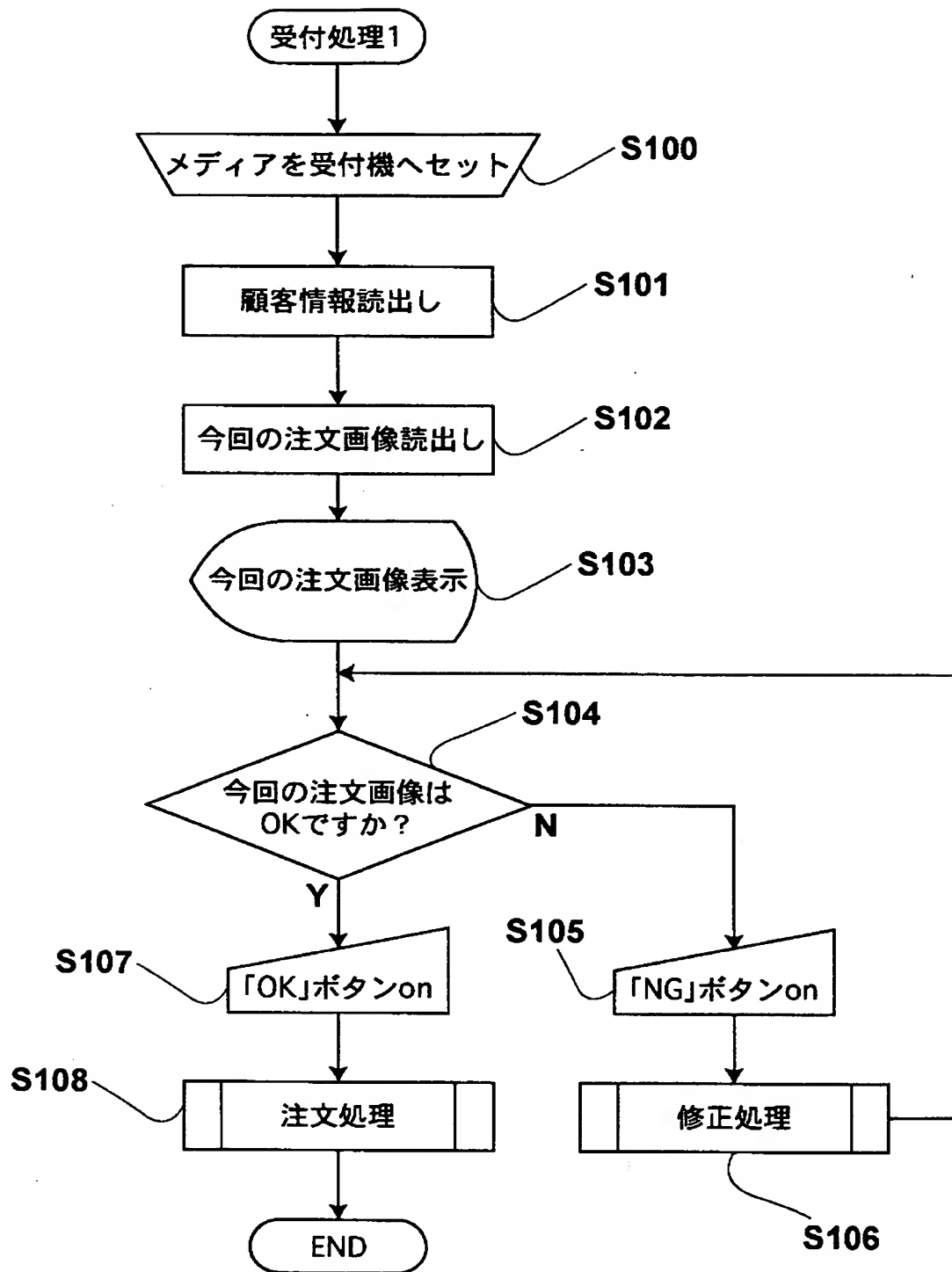
(b)

21		22		20		23
ファイル名	プリント注文 フラグ					プリント受付 フラグ
DSCF0112	1					0
DSCF0113	1					0
DSCF0114	1					0
DSCF0115	0					0
⋮	⋮					⋮
DSCF0201	1					0

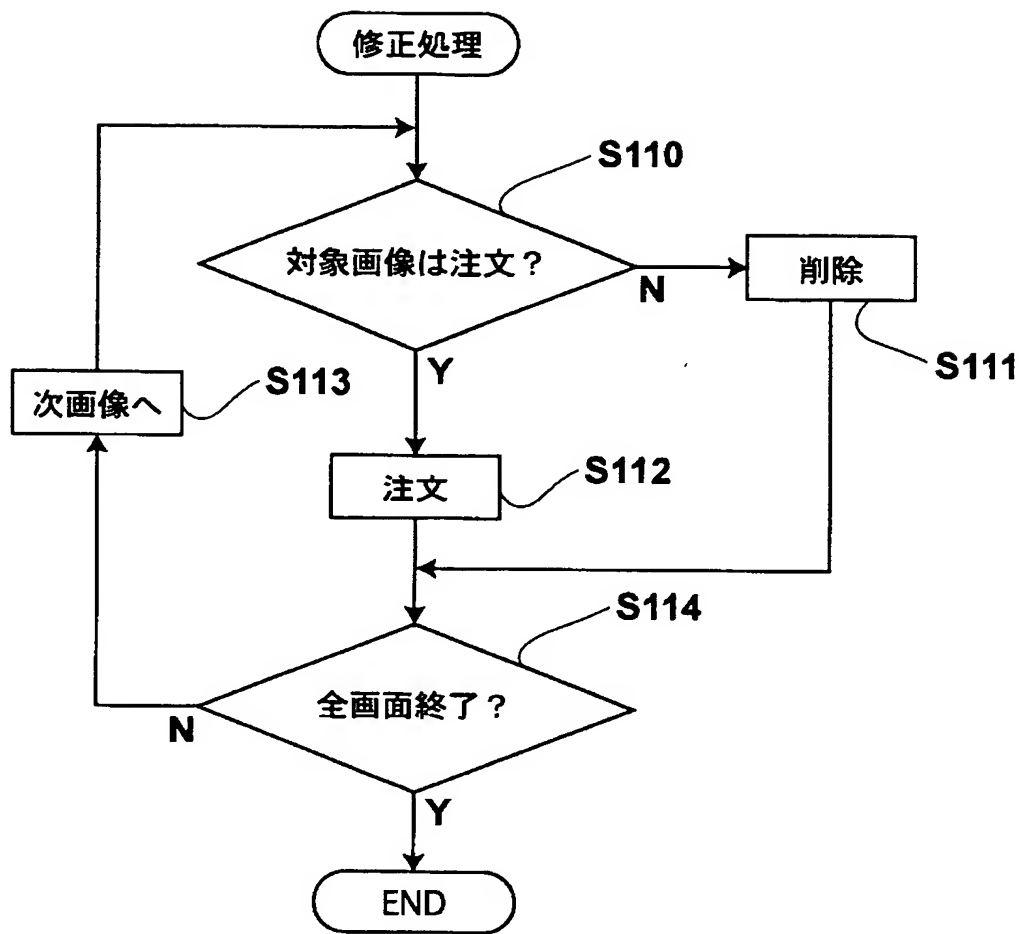
【図 2】



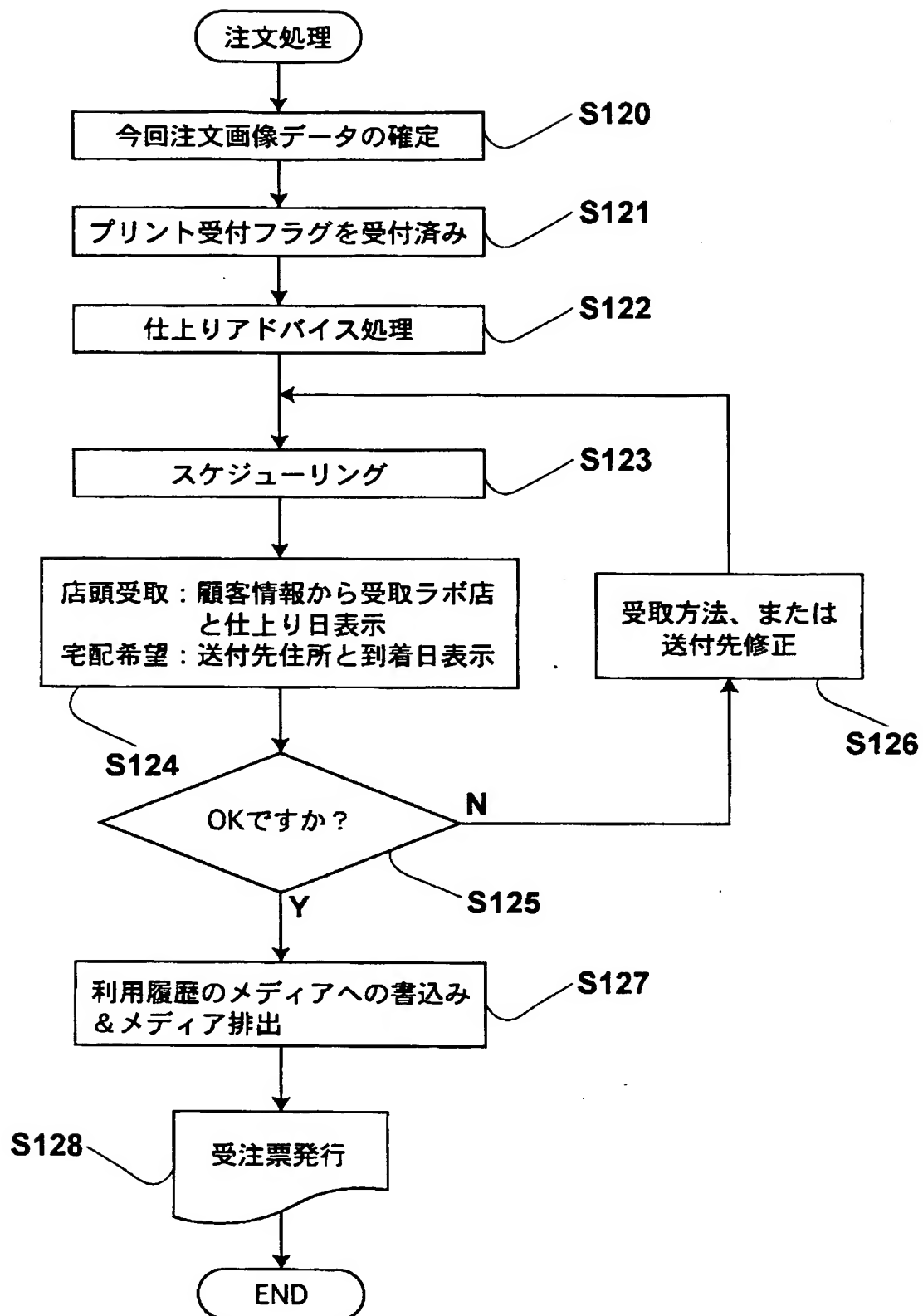
【図 3】



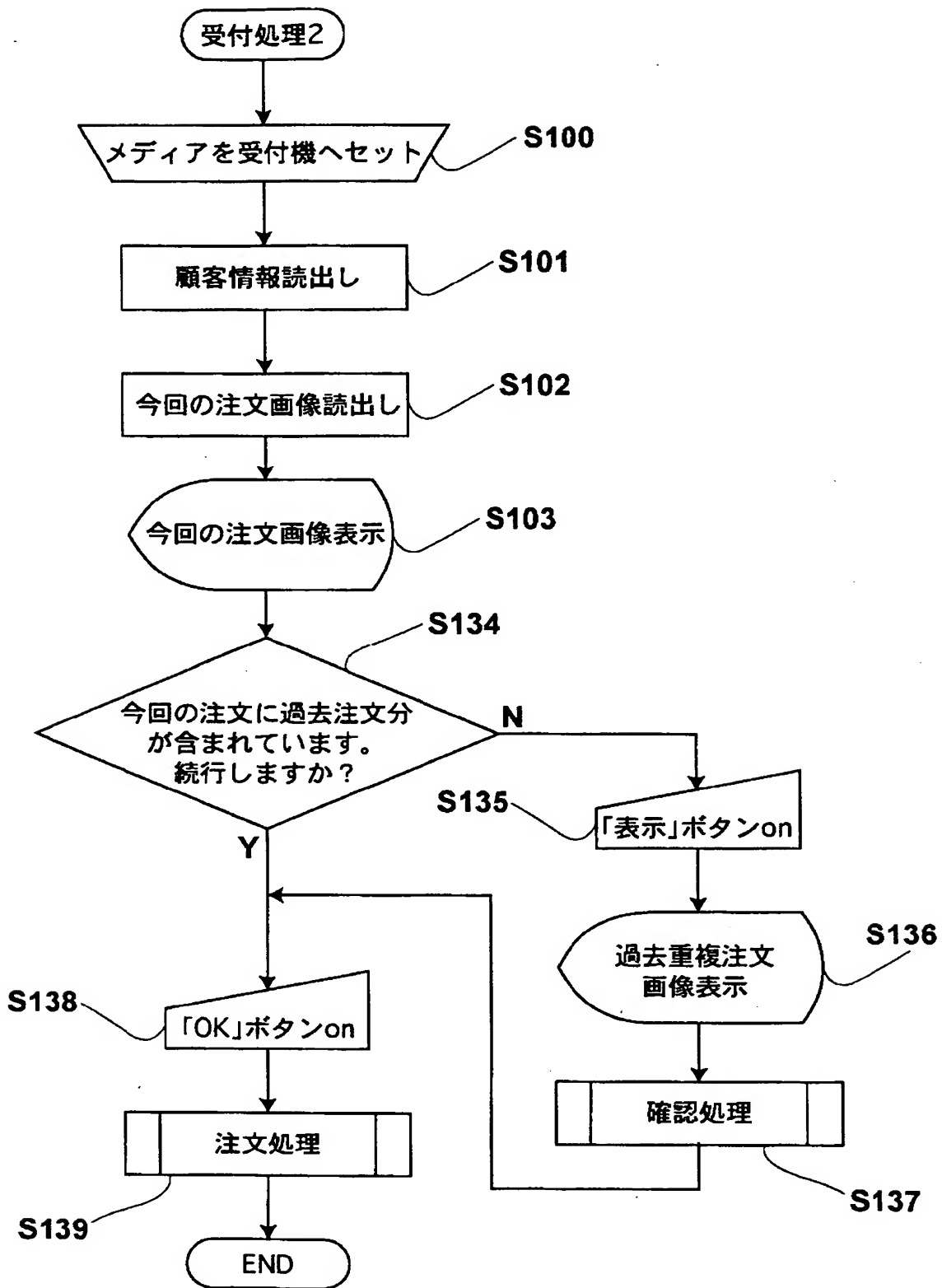
【図 4】



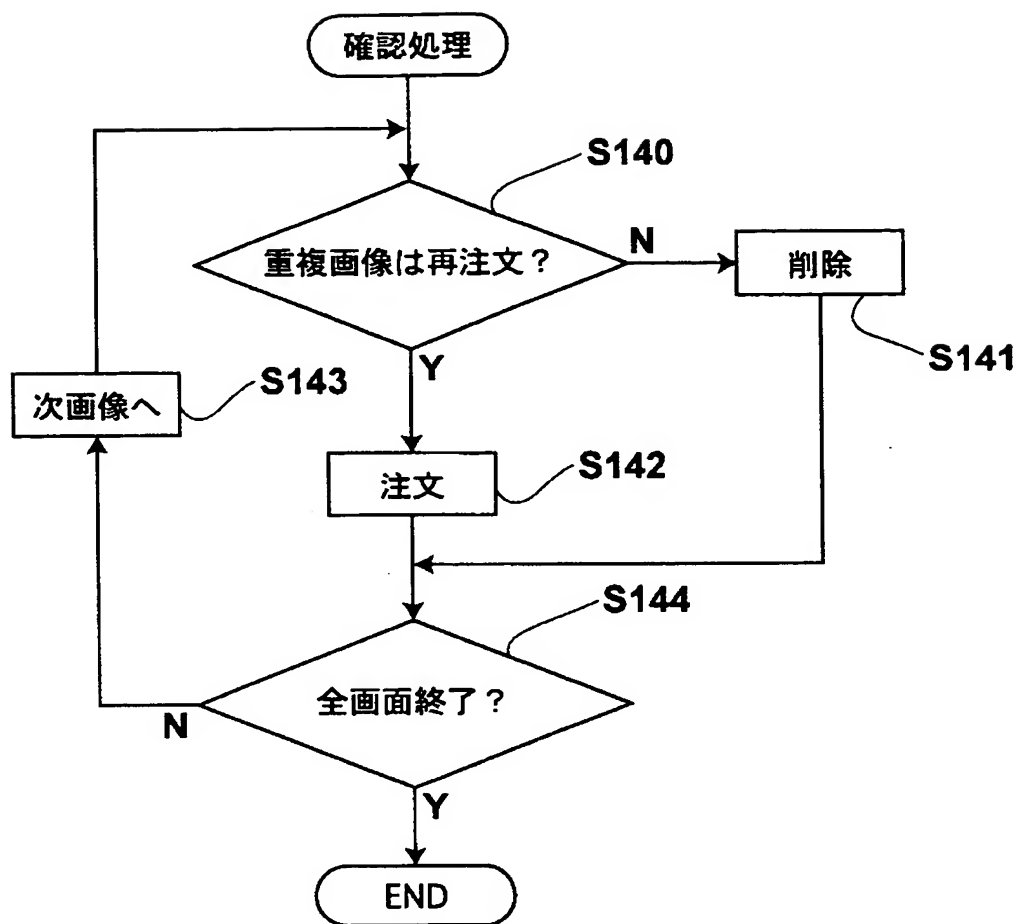
【図 5】



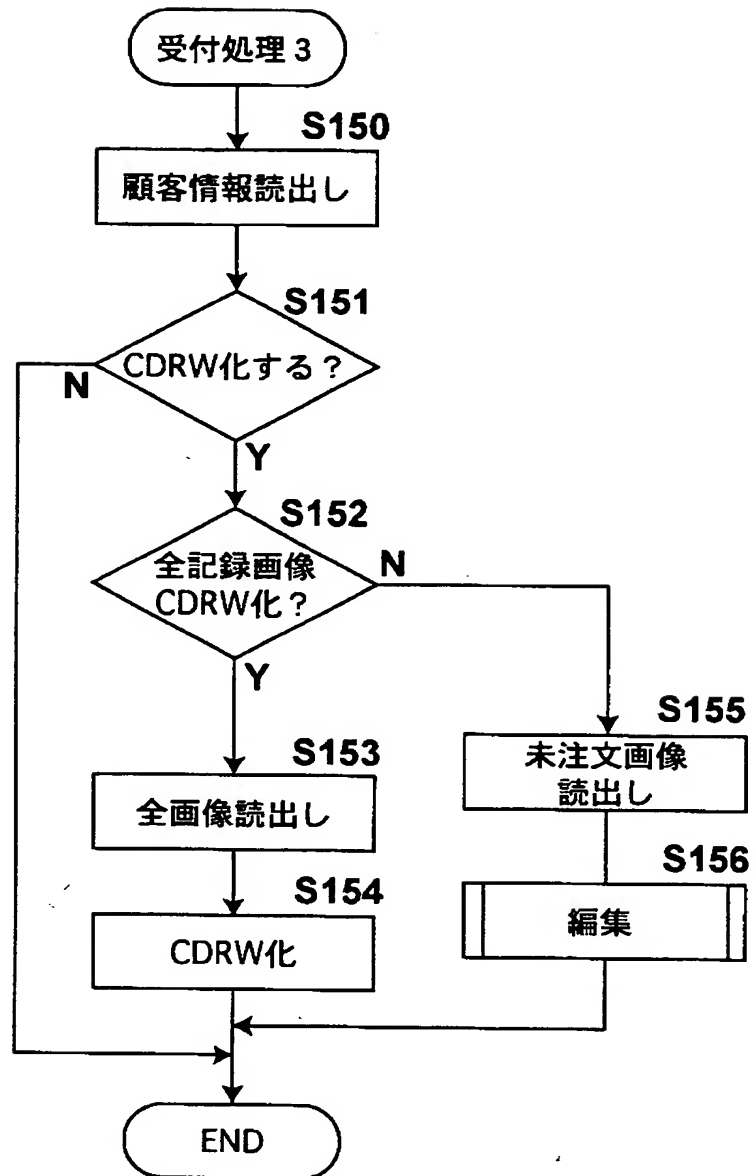
【図 6】



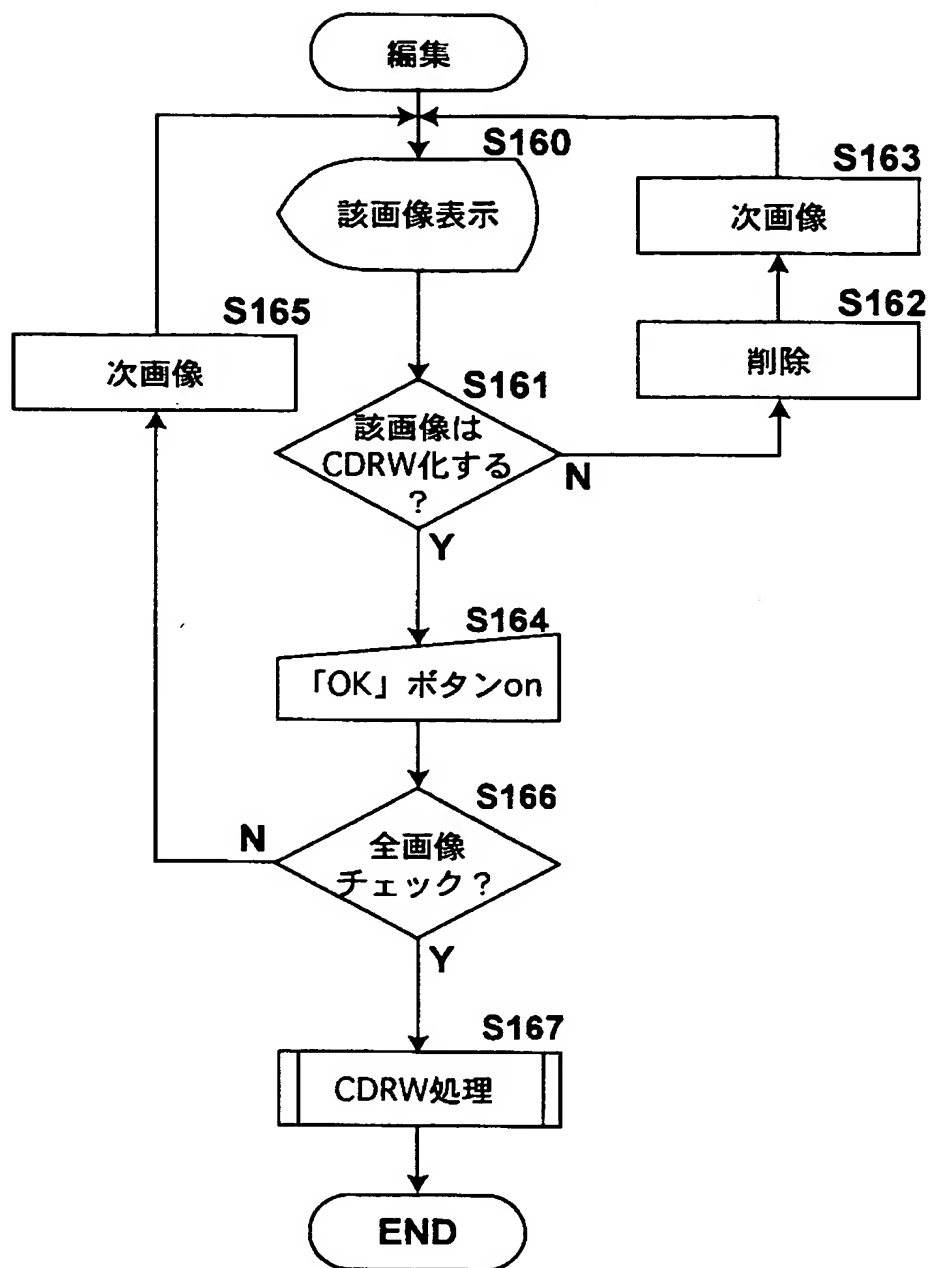
【図 7】



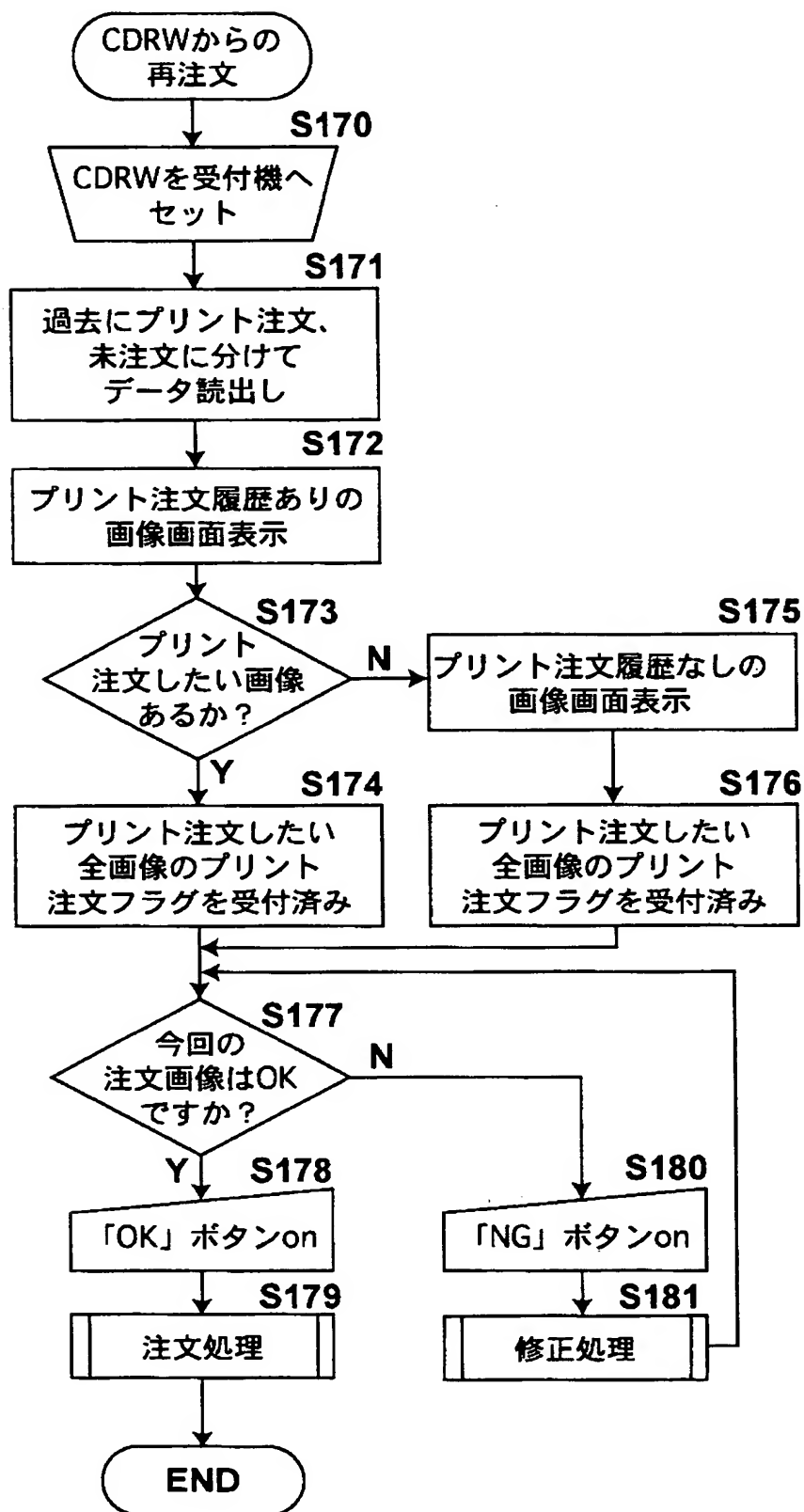
【図 8】



【図 9】



【図10】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 撮影した画像がすでにプリント注文済のものであるか否かを管理することができるようにする。

【解決手段】 画像ファイル10が記録される画像データを記録する画像記録媒体1に、画像ファイル10毎にプリントの受付状況を管理するための受付情報23を付帯するようにして、画像データのプリントを受け付けるプリント受付装置で、プリントを受け付けた画像ファイル10の受付情報23を受付済みの状態に書き換える。

【選択図】 図1

認定・付加情報

特許出願の番号	特願 2002-287358
受付番号	50201471048
書類名	特許願
担当官	第四担当上席 0093
作成日	平成14年10月 8日

<認定情報・付加情報>

【提出日】	平成14年 9月30日
【特許出願人】	
【識別番号】	000005201
【住所又は居所】	神奈川県南足柄市中沼 210 番地
【氏名又は名称】	富士写真フイルム株式会社
【代理人】	申請人
【識別番号】	100073184
【住所又は居所】	神奈川県横浜市港北区新横浜 3-18-3 新横 浜 K S ビル 7 階
【氏名又は名称】	柳田 征史
【選任した代理人】	
【識別番号】	100090468
【住所又は居所】	神奈川県横浜市港北区新横浜 3-18-3 新横 浜 K S ビル 7 階
【氏名又は名称】	佐久間 剛

次頁無

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005201]

1. 変更年月日	1990年 8月14日
[変更理由]	新規登録
住 所	神奈川県南足柄市中沼210番地
氏 名	富士写真フイルム株式会社